

キャラクター名
神立 灯(かんだち あかり)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ブラックドッグ		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	アイドル
	オプション		年齢	17	性別	女
覚醒	渴望	衝動	闘争	初期侵食率	33	%
出自	有名人	経験	トラウマ	邂逅	好敵手	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	5	1	0			6	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	1	0	0			1	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	10		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手(破壊の爪)	白兵	6r+10	1	+9/10		
		0				
100↓	白兵	11r+10	7	+35		
100↑(フルインストールなし)	白兵	12r+10	8	+46		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
D:賢者の石	P	N		
時条 止	P 誠意	N 食傷		
両親	P 憧憬	N 劣等感		
春日 恭二	P 尊敬	N 無関心		
二階堂 攻	P 尊敬	N 厭気		
紫月 光	P 執着	N 隔意		
ドミネイター	P 執着	N 嫌悪		

最大財産P: 2 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ:キュマ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:								
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	肉体のダイス+5/6個、アイテム装備使用不可							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	素手データ変更							
獣の力	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	白兵攻撃力+2/4							
ターゲットロック	3	3	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果:	対象への攻撃力+9/12							
攻性変色	3	3	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果:	↑と同時に使用、攻撃力+15/20							
バリアクラッカー	1	4	メジャー	武器	-	対決	80↑	
効果:	ガード不可装甲無視、シナリオ1/2回							
フルインストール	3	5	イニシアチブ	至近	自身	自動	100↑	
効果:	ラウンド間全てのダイス+15/20個、シナ1回							
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	戦闘移動、離脱可能、シーン1/2回							
巨獣の爪牙	1	2d10	マイナー	至近	自身	自動	120↑	
効果:	メジャー2回、素手白兵のみ、シナリオ1回							
体型維持	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	「アイドルたるもの、常に体調管理は万全です」							
効果:								
効果:								
効果:								

表舞台では明るく周囲を引っ張る止を支え、私生活では自堕落になりがちな止をサポートし、プロデューサーにアタックを仕掛ける止をほどほどのところで物理的に引っ張る役割。
自己主張が薄い、というわけではないが、淡々と自分を磨き、舞台の上で他者と競い合うことを一番の喜びとしている。
大抵にこにこ笑っているが、ライブ中の笑顔を振りまく合間に鋭く真剣な表情も、ファンからは好評であるとか。
おっとり系で口調も丁寧。
一人称は「私」二人称は「貴方」、その他「さん」をつけて呼ぶことが多い。

両親が芸能人として活躍しており、自らも芸能界への憧れを抱いていた。特にアイドルへの想いが強く、幼い頃から養成所へ通っていた。しかし親が有名である為周囲からの視線が厳しく、孤立しがちで時に虐めも受ける程だった。
また、本人の実力も秀でていた訳ではなかった為、どうにかして周囲を見返したい、けれど出来ないかと辛さばかりが積み上がっていった。

そんな時、「特別になれるよ」とFHに囁かれ、連れて行かれた研究所にて利き手である右手の甲に賢者の石を埋め込まれた。そのはずみでオーヴァードとして覚醒。覚醒したばかりだったこと、賢者の石を埋め込まれた影響で暴走し研究所を破壊し尽くした。現場に急行したUGNに取り押さえられ、保護された後チルドレンとして育成を受けることになった。

両親にはUGNの事は伝えていない。
そもそも親からは仕事の忙しさもありほとんど構ってもらえず、愛されている実感が薄くあまり信用していない。
両親も「本人の自主性を重んじる」といえば聞こえはいいが、つまりは放任主義であり「養成所に泊まり込みで生活をする事になった」とそれらしい書類を見せれば「そうか」と頷く程度。
本人は親のことを強力なコネ、と認識している。

UGNに入った時点でアイドルになる夢は半ば諦めていた、のだが。なんでアイドルになったんでしょう(相談したい)。